

神小だより

第13号



特色ある取組等(神領小学校HP)

6年生を送る会を終えて ～この笑顔と感動を卒業式へつなぐ～

「6年生を送る会」は、笑顔と感謝に包まれた素晴らしい時間となりました。6年生をもっと知ろうと工夫されたクイズは、一問一問に込められた思いや工夫から、6年生への敬意と親しみが伝わってきました。とても楽しく、会場全体が一つになるひとときでした。また、好きなこと、得意なこと、思い出のエピソードから、改めて、6年生一人ひとりの個性の大切さと存在の大きさを感しました。

そして、スマイル班での在校生からの感謝の手紙。短い言葉でしたが、そのまっすぐな言葉に胸が熱くなりました。「ありがとう」には、尊敬と憧れ、そして受け継ぐ決意が込められていました。

そして何より、この会を中心となって支えてくれた5年生の皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。準備や練習、見えないところでの気配りや一つ一つを丁寧に積み重ねる姿が、あの温かな空気を生み出しました。次の最高学年としての頼もしさも感しました。5年生の皆さんの姿そのものが、6年生から受け継いだバトンです。あまりの感動に、私は思わず5年生の教室まで、直接お礼を伝えに行きました。それほどまでに、皆さんの姿は頼もしく、誇らしく感じられたのです。



本校が大切にしている「凡事徹底」。特別なことではなく、当たり前のことを当たり前に、そして丁寧にやり続けること。今日の会でも、その姿が随所に見られました。その一つ一つが徹底されていたからこそ、今日の感動が生まれたと思います。

限られた時間や条件の中で、最大限に力を尽くして取り組むこと、話を真剣に聞くこと、心を込めて言葉を伝えること、その一つ一つが、神領小学校の力です。

3月17日の卒業式は、6年生が6年間の歩みを締めくくる大切な節目で、集大成の場です。今日感じた感謝と誇り、そして受け継がれる思いを胸に、全校で心をつなげてその日を迎えたいと思います。6年生の皆さんが胸を張って巣立てる卒業式に。そして5年生をはじめ在校生がその背中を見送りながら、次の一歩を踏み出せる卒業式に。

今日の温かさと感動を卒業式へとつなげていきます。

